

JENESYS2020 日カンボジア・オンライン交流 (環境) の記録

1. 概要

【目的】カンボジアの青少年が、ゴミを減らすための4R運動(Refuse(リフューズ)、Reduce(リデュース)、Reuse(リユース)、Recycle(リサイクル))、森林保護、水質汚染に関する日本の政策や取り組み、関連する先進的な技術等を学ぶこと、及びそれらを広く発信することを主目的に、本プログラムを実施しました。

【参加者】カンボジアの大学生・社会人 計70名

【訪問地】東京都、長野県、北海道

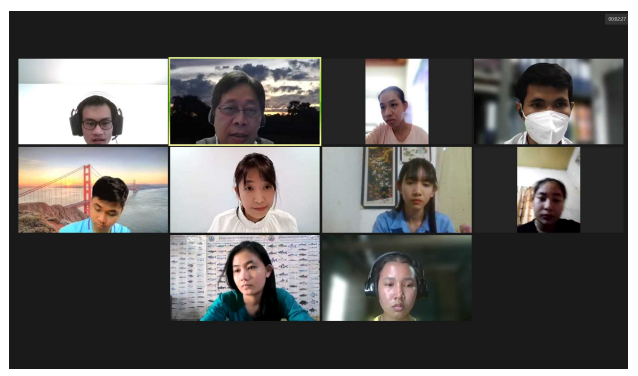
【日程】

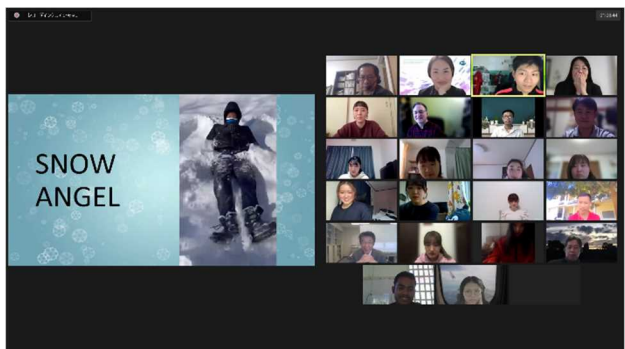
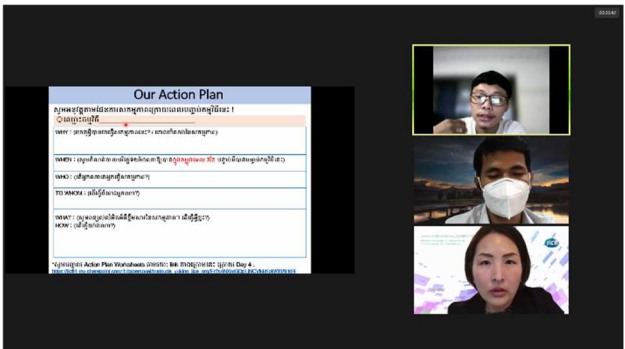
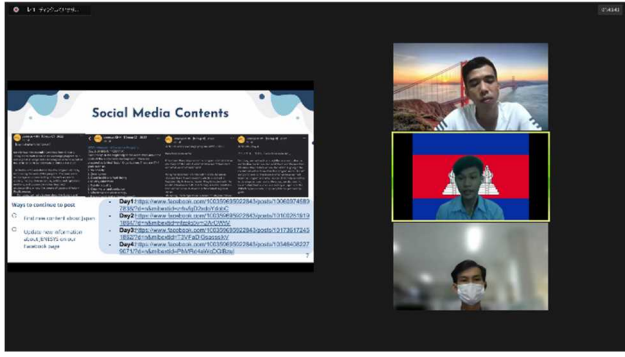
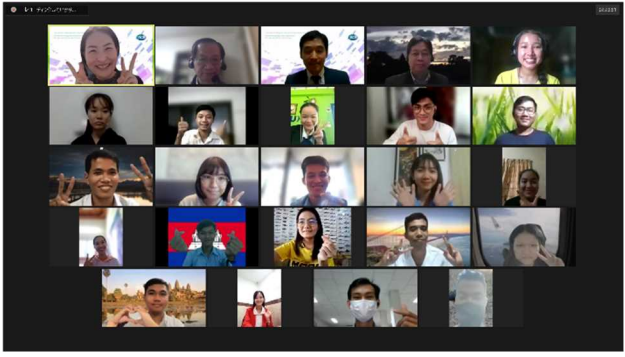
日付 訪問地	内容	参加者の質問・反応
以下2日間の参加人数：63名		
2021年 7月7日 東京都	【ウェビナー・質疑応答】 1. 概要説明 2. 講義・質疑応答 「廃棄物管理」 講師：環境省 環境再生・資源循環局 総務課循環型社会推進室 齊藤 雅裕氏 3. SNS発信・アンケート	参加者から「廃棄物問題が地球全体に及ぼす影響について知り、行動を起こす必要性を痛感しましたが、どう啓蒙活動を進めればよいか」等、普及活動についての質問がありました。
2021年 8月10日 長野県	【ウェビナー・質疑応答】 1. 概要説明 2. 講義・質疑応答 「生態系保全における農林業の役割」 講師：東京農業大学 地域環境科学部 地域創成科学科 教授 武生 雅明氏 3. SNS発信・アンケート	森林伐採と気候変動の関連、カンボジアが日本の協力の下取り組んでいる森林保護のためのREDD+活動への協力方法、経済成長と森林保護を両立させる方法等、幅広い視点から質問があり、参加者の関心の高さがうかがえました。
以下6日間の参加人数：7名（以下のプログラムは他のプログラムと合同で実施）		
2022年 2月10日	【動画視聴】 1. ホームビジット体験	プログラムへの理解を深めるため、参加者は日本やプログラムに関する動画を視聴して

～	2. 南三陸町からのメッセージ	から参加しました。
2022 年 2 月 16 日 東京都	【オリエンテーション】【ウェビナー・交流】 1. 自己紹介（グループ別） 2. 日本理解講義・質疑応答 「日本社会と文化」 講師：アンドラディ 久美 氏 3. カンボジアの JDS 留学生※のプレゼンテーション 「日本での留学生活について」 発表者：フン スレイ パウ氏 4. グループ別交流 ※人材育成奨学計画（The Project for Human Resource Development Scholarship：通称 JDS）：政府の「留学生受入 10 万人計画」の下、実施されている無償資金協力による留学生受入事業。	日本理解講義では、地理・気候、日本人の特徴、交通手段、習慣・伝統、食文化・居住環境など日本を初めて訪問する人にとって基礎知識が習得できる機会となりました。参加者からは、「日本が自然災害から国民を守るための政策」「時間厳守などの良い習慣を身に付けるためにどのようなことをしているのか」「日本で多宗教を受け入れている理由とその背景」など多岐に渡る質問が挙がりました。 カンボジアの JDS 留学生からも、日本での生活についてのプレゼンテーションがあり、参加者は興味をもって聞き入っていました。
2022 年 2 月 17 日 北海道恵庭市	【地方企業視察・交流】 1. 講義 「すべては食べ物から始まった-すべての問題は持続性と SDGs につながっている」 講師：株式会社アレフ SDGs 推進委員会委員長 エコチームリーダー 高田 あかね氏 2. グループ別交流	本講義では、食から SDGs につながる同社独自の取り組みとして、直営またはフランチャイズ店舗のレストランから出る生ゴミを資材・堆肥化し、近隣農家がその肥料を使って野菜の生産などに活用するという実例が紹介されました。食品廃棄物の削減と循環型農業の一助となっていることを知った参加者は、日本における環境配慮の取り組みについて高い関心を示しました。
2022 年 2 月 18 日 北海道札幌市	【学校交流】 東海大学札幌キャンパス 12 名 1. 東海大学の発表 2. 参加者の発表 3. グループ別交流	カンボジアの参加者からは「今、雪が実際に降っているのか」と質問があり、日本の学生が窓から直接景色を見せるなどの交流がありました。 日本の学生からは、カンボジアのプレゼンで触れられた伝統楽器について、まったく知らなかった、とても興味深かったとの声が聞かれました。 グループ別交流で互いの SNS 情報を交換するなど、今回の交流が今後の交流にもつながるきっかけになりました
2022 年	【ワークショップ】	プログラム全体を通した学びから、各グルー

2月21日 東京都	1. プログラムの振り返り 2. アクション・プラン策定、発表準備	プに分かれてアクション・プランを策定し、報告会に向けて発表の準備を行いました。
2022年 2月22日 東京都	【報告会】 1. 参加者による発表 2. 講評	プログラム後3か月以内に実施するアクション・プランについて英語と日本語で発表しました。日本について幅広い対象に発信する独創的なプランがいくつも提案されました。

2. 記録写真

	
2021年7月7日【ウェビナー・質疑応答】集合写真	2021年7月7日【ウェビナー・質疑応答】講義の様子
	
2021年8月10日【ウェビナー・質疑応答】講義の様子	2021年8月10日【ウェビナー・質疑応答】集合写真
	
2022年2月16日【ウェビナー・交流】JDS 留学生のプレゼンテーションの様子	2022年2月17日【地方企業視察・交流】グループ別交流で環境問題やリサイクルに関連する

	質問をする参加者 
2022 年 2 月 18 日【学校交流】東海大学の学生によるプレゼンテーション	2022 年 2 月 21 日【ワークショップ】アクション・プランを作成する様子
	
2022 年 2 月 22 日【報告会】アクション・プランの発表をする参加者	2022 年 2 月 22 日【報告会】集合写真

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ 参加大学生

今回のオンラインプログラムに参加することができ大変嬉しく思います。また、次回も同様のテーマに関連するプログラムがあれば、参加したいと考えています。

◆ 参加大学生

このプログラムのことを知って参加することができ、環境について新しい知識を得られただけでなく、日本との友情を深めることもできてとても嬉しいです。

◆ 参加大学生

プログラムは充実していて、とても素晴らしいものでした。有意義な講義であり、周りの人に共有できることが多々ありました。

◆ 参加大学生

オンラインプログラムに参加し、想像もありますが日本を理解することができたと思います。ただし、直接日本を視察することができず、他の若い世代に日本を的確に伝えることが困難であると考え

えます。日本に直接訪問するプログラムになったらよいと思います。

◆ 参加高校生

まず、JENESYS オンライン交流プログラム（環境）に参加させていただき、心から感謝し、嬉しく思います。JENESYS プログラムを通じて、日本の素晴らしい側面、特に持続可能な環境を維持する方法について多くの視点を得ることができました。

◆ 参加大学生

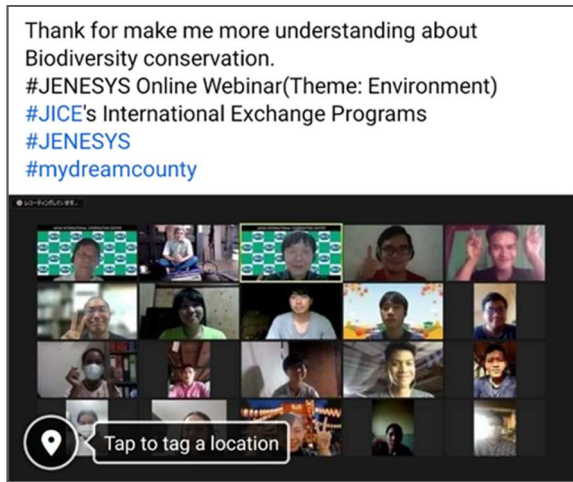
この交流プログラムは、多くの友達と出会い、日本の食べ物、文化、季節について学ぶことができ、非常に気に入りました。

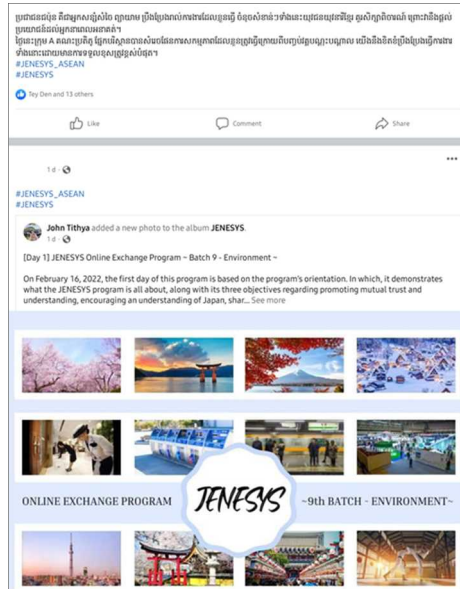
4. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ 講師

日本の学生から受ける質問とは異なる質問を受け、良い刺激となりました。

5. 参加者の対外発信

	
2021 年 8 月 10 日（Facebook※JICE の Facebook 投稿に対するコメント） 充実した講義でした。	2021 年 8 月 10 日（Facebook） 生物多様性についての理解が深まりました。ありがとうございました。



2022 年 2 月 22 日 (Facebook)

日本の人々は節約志向で仕事に勤勉な国民です。この点に関して、若いカンボジアの人々は、自分の将来の利益のために参考すべきです。本日、環境分野に参加している私たちのチームは、プログラム終了後の行動計画（アクション・プラン）を決定し、責任を持って取り組んでいきます。

[Day 1] JENESYS Online Exchange Program - Batch 9 - Environment -

On February 16, 2022, the first day of this program is based on the program's orientation, in which it demonstrates what the JENESYS program is all about, along with its three objectives regarding promoting mutual trust and understanding, encouraging an understanding of Japan, sharing information, and generating worldwide interest in Japan.

Along with this first of the program, there is a lecture that focuses on "Japanese Society and Culture". One objective of this lecture was in accordance with the "Geographic Features and Climate of Japan" which illustrates about the many different parts of the country of Japan and the four seasons in Japan regarding spring, summer, fall, and winter.

The second objective of the lecture was the basis of "Characteristics of Japanese people and society" which shows how polite Japanese people are and indicate different ways in which people can express their politeness toward others. Also, it shows how clean Japan's environment really is and shows how to manage and maintain a good and clean environment. Plus, the lecture proves how punctual, convenient, and safe Japan really is, together with the advanced technology which helps the Japanese in their daily living, travel, and working conditions.

The lecturer's third objective was on Culture: characteristics, current status, and religion which indicates the society of old and new, architectural structure and techniques, performing arts, traditional musical instruments, martial arts, and popular sports. As well as the Japanese religion "Shinto" and the number of believers in Japan.

The last objective of the lecture was on Daily life: food and housing which shows what the Japanese have been eating, foreign influences, popular food among the Japanese, and food for special occasions, in conjunction with, housing and manners.

Moreover, we were able to get the chance to learn about the JDS Scholarship presented by a Cambodian student who received the scholarship to study in Japan. In which, it is truly a remarkable and interesting topic to be aware of because it offers such valuable knowledge to Cambodian students who would like to obtain a scholarship to study in Japan.

My impression toward this first day of the program is that I feel absolutely delighted to be able to learn such wonderful knowledge and gain such a unique experience from the JENESYS Program. I feel so incredibly thankful to JICE's International Exchange Programs and JICE staff for their hard work in conducting this program to raise awareness about Japan to Cambodian participants.

Respectfully,
Written by John Tithya, Group A.

#JENESYS
#JENESYS ASEAN
#JENESYS Cambodia



2022 年 2 月 20 日 (Facebook)

初日である 2022 年 2 月 16 日は、オリエンテーションが実施されました。

（中略）プログラムの第一部として、「日本社会と日本文化」をテーマにした講義がありました。この講義では、日本の様々な地域と春夏秋冬の四季について、「日本の地形と気候」として説明されました。

また、「日本人と日本社会の特徴」が提示され、日本人がいかに礼儀正しく、どのような他人を敬う慣習があるかについて説明がありました。また、日本の環境がいかに美しく、そしてそれを管理・維持するにはどのようなことをしているのかということもわかりました。

（中略）加えて、日本に留学するために JDS 奨学金を得たカンボジアの学生からお話を聴く機会がありました。日本留学のための奨学金を求めているカンボジアの学生にとっては、非常に貴重で興味深い内容であったと思います。

プログラム初日の感想として、JENESYS プログラムでこのような素晴らしい知識を得てユニークな経験をすることができ、大変光栄に思っています。カンボジアの参加者に日本について知ってもらうためにこのプログラムを実施した JICE 国際交流部と JICE スタッフの方々に心から感謝しています。

6. 最終報告会でのアクション・プランの発表

 Stop Food Waste Campaign 1. To raise awareness of the environmental consequences of wasting food 2. To promote activities that help to reduce the amount of food waste	「ストップ 食品廃棄物キャンペーン」 Facebook や Instagram などのソーシャルメディアプラットフォームを介してキャンペーンを実施する。 ■ 実施する者：グループのメンバーとボランティア ■ 実施期間：3 月 15 日から 5 月 15 日（2 か月間） ■ ターゲット：スーパーマーケットで買い物をする 18 歳から 40 歳の人々（例：主婦）、環境保全活動家 ■ 実施計画： 1 か月目：SNS を用いてキャンペーンを行う 2 か月目：ワークショップを開催する
Implementation 1st Month: Campaign through social media platform • post 3 to 4 times a week • Focus on 3Rs: • Reducing food waste • Reusing unconsumed food • Recycling food waste (compost) • Host SNS challenge • #StopFoodWaste • #JENESYS #JENESYS_ASEAN  	

実施団体名：一般財団法人日本国際協力センター (JICE)